

## 授業科目

## 保健体育科教育学特論

担当教員名 塙 佐敏	対象学年	1	対象学科	保健学・健康科学・社会福祉学・医療情報
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	2	時間数	30

## 授業の概要

子どもの体力は少しずつ向上傾向にあると言われてはいますが、本授業では、まず長期的な視点から見た体力の推移を検討していきます。そして、測定項目の違いによる推移に着目し、その要因を考察するとともに、生活全体で身体活動量を増やすための工夫について検討していきます。

また体力向上のために体育の授業が核となります。新学習指導要領では、アクティブラーニングの視点を取り入れた授業改善が求められています。なぜアクティブラーニングが求められるようになったのかを背景を検証しながら、運動の楽しさと運動量確保、そして技能向上と運動量のバランスの取れた授業をいかに創っていくかについて検討し、これの課題に応えるための教材づくりを工夫していきます。

## 授業の目的

本授業では、子どもの体力が全体として向上していると言われてはいるものの、なぜ測定項目によって違いが見られるかについて、子どもの運動習慣や生活習慣の観点から検討することを目的の一つとしています。

また、体力向上のために体育授業の充実が不可欠です。体育の授業では、技能向上や運動量の確保が求められる一方で、運動の楽しさや運動の動機づけを高めることが求められています。さらに新学習指導要領では、アクティブラーニングによる授業改善が求められています。そこで本授業では、子どもの体力向上や運動への動機づけを高め、運動の楽しさを味わうことができる体育授業の在り方について、アクティブラーニングの視点から検討していくことを二つ目の目的としています。さらに、体育授業を社会認知理論から検討していくことで、体育授業の意義や役割を明確にしていきます。

## 学習目標

1. 体力テスト結果から見た児童生徒の体力の現状と課題を説明できる。
2. 体力テスト結果の全体の推移及び各測定項目の推移について、運動習慣や生活習慣の観点及び運動への動機づけの観点から説明できる。
3. 体育授業における運動量確保と技能向上、そして運動の楽しさとの関連について述べるができる。
4. アクティブラーニングの視点による授業改善を動機づけや社会的認知理論との関連から述べるができる。

## 授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	オリエンテーション。体力とは（時代と体力）	講義	塙 佐敏
2	新体力テストと旧体力テスト 体力測定項目（共通測定項目）の記録の推移？	講義、演習	塙 佐敏
3	体力測定項目（共通測定項目）の記録の推移？ ～子どもの体力はどのように変わったのか～	講義、演習	塙 佐敏
4	子どもの身体活動量の推移から見た体力 体格の変遷及び運動習慣や生活習慣から見た体力	講義	塙 佐敏
5	体育授業の目的の変遷（体力・運動技能・楽しさ） ～体育の授業目的はどう変遷してきたのか。技能と楽しさの両立は～	講義、演習	塙 佐敏
6	アクティブラーニングが求められる背景 ～体育の授業とアクティブラーニング～	講義	塙 佐敏
7	体育授業における動機づけ ～動機づけと運動への意欲～	講義	塙 佐敏
8	体育授業における運動有能感と社会的認知理論 ～アクティブラーニングとの関連～	講義	塙 佐敏
9	体づくり運動（コーディネーション運動を含む）において体力を高め、身体操作能力を高めるための指導法の工夫	講義、演習	塙 佐敏
10	体づくり運動（コーディネーション運動を含む）において体力を高め、身体操作能力を高めるための指導法（教材化）の工夫	講義、演習	塙 佐敏
11	ボール運動・球技において体づくり運動を取り入れた指導法（教材化）の工夫	講義、演習	塙 佐敏
12	ボール運動・球技における下位教材を用いた指導法（教材化）の工夫	講義、演習	塙 佐敏
13	ボール運動・球技において運動有能感を高めることができる指導法（教材化）の工夫	講義、演習	塙 佐敏
14	ボール運動・球技において運動有能感を高めることができる指導法（教材化）の工夫	講義、演習	塙 佐敏
15	まとめ、技能・情意（楽しさ）・自発性・体力向上と学校体育	講義	塙 佐敏

### 使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書						
その他の資料						

### 評価方法

課題取組、レポート

### 履修上の留意点

### オフィスアワー・連絡先

hanawa@nuhw.ac.jp